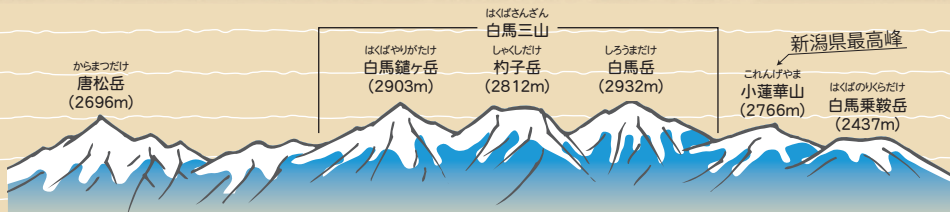


白馬岩岳 秋の森マウンテンビューレポート Q & A

Q 北アルプス見晴し台から見える山の名前を教えてください！

A 左から白馬鍵ヶ岳、杓子岳、白馬岳からなる「白馬三山」を正面に望むことができます。白馬鍵ヶ岳の左側には唐松岳、白馬岳の右側に小蓮華山、白馬乗鞍岳が連なります。



ちょっと『まめ知識』！

ねずこの森入口のブナの森パークには、写真のクロモジ(黒文字)の幼木があります。(クロモジの枝は高級爪楊枝として使用され、柑橘系の香りがします。)茎は高さ5m程になり、若枝ははじめ毛があるが次第になくなり、緑色のすべすべした木肌に、次第に黒い斑紋がでます。



Q そっくりな木、『ブナ』『ホオノキ』『コシアブラ』の見分け方は？

A ねずこの森、森の小道階段手前に、木の肌だけではとても見分けのつかない3種類の木が並んでいます。

①『ブナ』

この森でたくさん見られる木で、葉は楕円形で薄くやや固め、ふちは波型葉脈のところで少し窪んでいます。

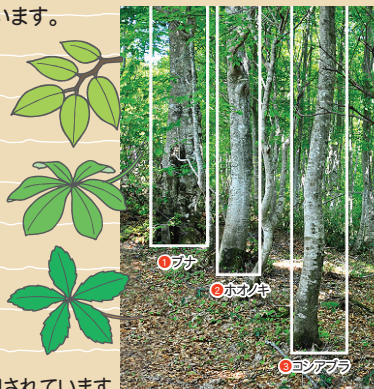
②『ホオノキ』

葉は大きく、時には40cmにもなり葉っぱの中に味噌を入れたばう葉味噌として食材に使われます。

③『コシアブラ』

葉は5枚の小葉からなり、大きくなると長さ10～20cmの葉柄をもち、春新芽を天ぷらにして食べられます。

このように森の恵みとして食材に利用されています。



Q ブナの木の新芽はどんな形？

A 葉はブナの葉と同じ形をしています。最初は2枚からです。ブナ林は、ある程度の間隔で木々が立ち並んでいます。これは幼木時に芽を出し、周りのブナと戦い、勝った幼木だけが残るためです。同じブナが近くで育っているのは、同じ遺伝子を持っているからです。



Q 『ネズコの巨木』とはどんな木？

A ネズコ(別名クロベともいう)は日本特産のヒノキ科の木で、木曽五木の一つ(ヒノキ・サワラ・ネズコ・アスナロ・コウヤマキ)です。

写真の大きな木は何歳だと思いますか？樹齢200年以上は経っているねずこの森で一番大きな木です。

秋になると他の木は赤や黄色に色を変え、冬の前には葉っぱが全部落ちてしましますが、このネズコの木は葉っぱの色を変えず、ずっと緑のまま(常緑樹)冬になっても葉っぱが落ちない木です。

ねずこの森を守っている『守り木』です。



“あずま家”でちょっとティータイム♪

屋根のあるちょっとしたウッドテーブルがあります。森に囲まれた空間で、森の声を聞き、雄大な北アルプスを眺め、楽しく会話をしながらティータイムはいかがでしょう？



Q “うまブナ”と呼ばれている変わった形の木とは？

A 右の写真は馬のような形をしているので“うまブナ”と呼ばれ、樹齢100年程のブナの木です。なぜこんなに曲がった形になるのかというと、冬になると岩岳山頂では積雪が3m近くになり、雪の重さ等で枝が変わった形になります。小木などは成長する過程で、途中で枝が曲がったり折れたりしますが、少しでも繋がっているとそこから成長を続けます。”生命の力ってすごいですよね”



Q ふかふかの森の道はどうやってできるの？

A 岩岳山頂は落葉樹がたくさんあり、秋になり色が付き、その葉が枯れると地面に落ちてきます。

毎年、秋に落ちた葉っぱがどんどん積もり、葉っぱが腐らずに残ると葉っぱの層ができてふかふかの森の道を作ります。

長い年月をかけて積み重ねてできた腐葉土の層は深いところで約80cmにもなり、新しい命にたくさんの栄養を与える肥料にもなっています。



ねずこの森の仲間たち ねずこの森には色々な動植物がいます。

【植物】カタクリ、ミヤマアオイ、マイヅルソウ、ツクバネソウ、バイカオウレン、ミヤママコナ、ツルアリドウシ、ツルリンドウ、オオカメノキ、ホトツジ、ギンリョウソウ

【動物】カモシカ、タヌキ、キツネ、リス

森の中のワンポイント！

森の中の“ブナの木”をよ〜く見ると熊が登った爪跡を見つけられます。



白馬岩岳 ゴンドラ「ノア」から見える木々の名前は何だろう？

- ① 葉は卵形でふちは波型、葉脈のところで少し窪んでいる。黄色・茶色に色づき、左右互い違いに茎の節に1枚の葉がつく互生(ごせい)と言われる最も多く見られる葉の付き方をした木は何？
- ② 葉は卵型の楕円形で、根本はゆるやかに狭くなり、ふちは尖った大型の鋸歯がある。やや枝の先に集まって互生する木は何？
- ③ 葉は長さ20～40cmにもなる大きな卵型の楕円形で、ふちは波型、枝の先に、輪のような形に互生する。食品を包むのによく使われている葉の木は何？



答えはフォレストプラザ内スタッフへお気軽にどうぞ！

